



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第276号 2025年3月号

SINCE 2002.4.1.



## ♪My little hometown「横須賀市のまちづくり」

現在、横須賀市では追浜駅周辺、横須賀中央駅周辺のほかでも再開発やまちづくりの計画が進められています。いくつかの地区に分けてご紹介します。



浦賀地区では、住友重機械工業や横須賀市が所有する土地を含む浦賀駅前周辺の活性化事業を「第二の開国」と銘打って、将来にわたって旅行者を惹きつける新たなレガシーを形成しようとする計画があります。現在、担い手となる民間事業者の募集を行っています。久里浜地区では、Jリーグの横浜F・マリノスが練習拠点としてだけでなく、公園のように開かれた場所として街の人が集いスポーツによる地域振興の中心になれるようにと2023年に「F・マリノススポーツパーク」が整備されました。また、2025年3月にうわまち病院の移転に伴い、新たな地域完結型医療施設として「横須賀市立総合医療センター」が開設されます。周辺には新たな商業施設も計画されています。尚、うわまち病院の跡地には、医療看護系の大学を活かしたまちづくりが計画されています。さらに、三笠公園では、カフェや遊具施設を備えたりリニューアル工事が計画されています。

横須賀市の新しいまちづくりが着々と進行しています。

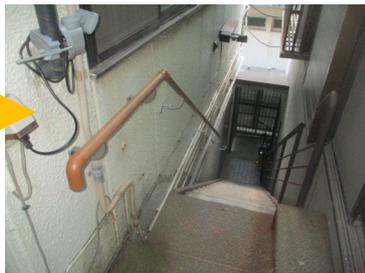
(参考資料「横須賀市のホームページ」)



介護保険制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

外階段に手すりを設置する工事です。店舗併用住宅のため、2階の玄関までのアプローチの外階段に、昇り降りが楽になるように、既に設置してある手すりと同じ高さで新たに手すり設置したいというご要望です。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



外壁に電線や配管があるため、段差を調整できる（調整可能範囲95～125mm）壁付け金具を使用しました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

## ローカルニュース 地域情報

三浦半島周辺で開催されるイベントや地域情報等をご紹介します。

◆今年も横須賀オクトーバーフェストin springがやってきます。

4月11日(金)～20日(日)ヴェルニー公園で開催されます。オクトーバーフェストは世界各地で開催されていますが、ドイツのバイエルン州ミュンヘン市のものが規模も大きくて有名です。このお祭りは、1810年にルードヴィヒ皇太子とザクセン皇女の結婚式を多くのミュンヘン市民が祝ったことがきっかけと言われています。

◆サルバドール・ダリ展「天才の秘密」が横須賀美術館で4月6日(日)まで開催されています。

世界中に愛されている芸術家ダリの生誕120周年・シュルレアリスム宣言100年の記念すべき2025年にその作品とともに生涯を振り返ることができます。



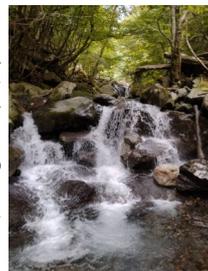
## ヤマメだって万事塞翁が馬

▶ Digital remastering (第208号すまい造りメール2019年7月号掲載)

春は出会いと別れ、そしてステップアップの季節です。

ヤマメは「溪流の女王」と呼ばれ、30cmを超える「尺ヤマメ」は溪流釣りの憧れです。ヤマメはエサを獲るために縄張りをつくりますが、すべてのヤマメがエサにありつけるわけではありません。エサを獲る能力が高いヤマメはそのまま川で生き残ることができ、エサを獲る能力が低いヤマメは川で生きていくことができません。

したがって、縄張り争いに敗れたり、あるいは、チャレンジ精神?を持ったヤマメは住み慣れた溪流を離れ、新天地を求めて大海原に出て行きます。海は川に比べて危険も多いのですが、その分豊富なエサがあります。この過酷な環境の中で生き抜いたヤマメが60cmを超えるサクラマスに成長し、生まれ故郷の川に戻って来ます。ちなみに、サクラマスは海で豊富なエサを食べて育っていることもあって、脂ものっていて非常に美味しい魚となります。



写真提供「ketsu-I」  
※尚、写真の魚は都合により亜種のアマコ

ところで、サクラマスになりやすいのはオスとメスのどちらでしょうか。それはメスです。ヤマメはオスの方がエサを獲る能力が高いと言われていマス。そのため、オスに比べてエサを獲るのが苦手なメスが海に出てサクラマスとなりやすいと言われていマス。大きなサクラマスのメスの産卵に群がる小さなヤマメのオスの映像を良く見かけることがあります。

生まれたところを棲み処として深く濃く過ごしてきたヤマメと故郷を離れ大きくなったサクラマスはお互いに協力して次世代に繋げる努力をします。

(参考資料「釣り情報メディア『釣りの知恵袋』」ほか)

よこすか近代遺産ミュージアム 9:00~17:00 年中無休  
ティポディエ邸 詳細につきましては施設にお問い合わせください。 ☎046(822)9478



## よこすか文学館

【111】

横須賀が登場する文芸作品(マンガも含む)や横須賀に縁のある文学者を紹介します。

### 魚乃目三太『戦争めし10』(ヤングチャンピオン・コミックス)

『戦争めし』シリーズは、戦争中の庶民の食生活、戦場での食事など、戦時下の「食」をテーマにした短編集です。本書第10巻は2024年7月刊行の最新刊で、副題は「特集 横須賀～海風のメモリー～」となっており、「さかくらの海軍羊羹(ようかん)」「よこすか海軍カレー」が収録されています。前者は、海軍に懇請され遠洋航海中でも食べられる缶詰の羊羹を開発し、さらに補給艦「間宮」にさかくらの職人たちが乗り込むという話(「さくら総本店」では現在も「海軍羊羹」という商品があります)、後者は、水兵たちの脚気予防をきっかけとするカレーの導入から現代の横須賀名物「よこすか海軍カレー」までを描いた海軍カレーの歴史です。



作者の魚乃目三太には、他に『しあわせごはん』、『しあわせのひなた食堂』、『ちらん』など「食」に関わる作品が多数あります。

(洗足学園中学高等学校教諭 中島正二)

「よこすか文学館」のシンボルマークは芥川龍之介の小説「蜜柑」が由来です。文学碑はその舞台となった踏切の近くの吉倉公園にあります



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2025」A-9歩ZONE版(永久保存版)を(Blog「Oppamap2025」より)ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索